

富士箱根伊豆国立公園ステップアッププログラム 2025 アクションプラン(富士山麓地域版) プロジェクト表

①上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園						
プロジェクト	実施内容 (※黄色セルは取組個票あり)	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
ア.適正利用推進に向けた体制構築	1.富士山麓におけるエコツーリズムを中心としたガイドの連携体制構築	【ごうりき】 富士山ガイドネットワーク(仮称)の設立準備			富士山ガイドネットワークを中心としたエコツーリズムの普及と体験の充実化	
	原生的な自然の適正利用のあり方の検討	【富士宮市観光協会】 富士山ネイチャーガイド紹介特設サイト、パンフレットの作製	【富士河口湖町観光課】連携 【マウントジトレイルクラブ】 富士山ロングトレイル運営事業(パートナーガイド制度)	町公認ガイド募集・講座開催		
イ.多様な利用者層への情報発信	1.富士山麓の魅力や利用にあたってのルール、マナーに関する情報の発信	【環境省】 意見交換会	【協議会(環境省)】 ガイドNW設立に向けたヒアリング・意見交換	【協議会(ガイドネットワーク)】 情報共有・意見交換・連携体制の検討など	上質なエコツーリズムの展開	
				【協議会(ガイドネットワーク)】 課題抽出、ルール作りなど		山麓全体のあり方検討
	2.各種利用拠点での富士山麓一帯に関する案内機能の強化	【環境省・自治体・静岡県観光協会】 富士山麓の魅力や利用にあたってのルール、マナーに関する情報発信		【マウントジトレイルクラブ】 富士山ロングトレイル運営事業		
		【富士宮市観光協会】 しずおか富士山利活用協議会事業「富士下山」のすすめ		【協議会(ガイドネットワーク・自治体)】 意見交換・課題検討・共通した情報発信		
	【環境省・自治体】 所管施設での情報発信		【協議会(各構成員)】 SUPでの取組を反映した提案・情報発信			

※注)青線は、令和5年度(2023年度)変更箇所を示す。

※注)破線は、取組内容の明確な記載は無いが関連する活動(過去からの継続的活動、準備のための活動、今後の活動など)がある/想定されるものを示す。

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	実施内容 (※黄色セルは取組個票あり)	実施時期の目標					
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	
ア.コミュニティの 関係性の強化	1.情報共有や意見交換の場、機会の提供(山麓トレイルの整備と維持管理)		【エコロジック】 白糸の滝⇄天子ヶ岳・長者ヶ岳⇄田貫湖トレイル整備事業(仮称)				
	ボランティア受入体制のネットワーク化		【マウントフジトレイルクラブ】 富士山ロングトレイル運営事業(石割山)		富士山ロングトレイル運営事業(越前岳)		
イ.利用環境の整備、充実、保全	1.猪之頭地区で過密状態にあるキャンプ場の整備			【環境省・民間事業者】意見交換会	【民間事業者・(環境省)】トレイルコミュニティ立ち上げ	【協議会(環境省)】登山道部会設立	【協議会(登山道部会)】意見交換・情報共有・維持管理体制検討
	2.朝霧高原地区での周辺施設の利用を推進する宿泊施設の誘致				【トレイルコミュニティ】年間計画策定、意見交換、勉強会、イベント等の実施・検討		

※注)青線は、令和5年度(2023年度)変更箇所を示す。

※注)破線は、取組内容の明確な記載は無いが関連する活動(過去からの継続的活動、準備のための活動、今後の活動など)がある/想定されるものを示す。

プロジェクト	実施内容 (※黄色セルは取組個票あり)	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
イ.利用環境の整備、充実、保全	3.標識等の簡易ガイドラインの作成	【山中湖村観光課】 自然公園法や景観条例等の情報発信(2017年～)	【協議会(環境省)】 意見照会・議論等	【マウントジートルイクラブ】 富士山ロングトレイル運営事業 【協議会(環境省)】 意見交換、現地調査、 素案作成	【協議会(環境省)】 標識ガイドラインの策定 【環境省】 管理運営計画策定準備	
	4.近自然工法による登山道整備の検討	【環境省】 石割山での導入検討 (グリーンワーカー事業)	【山中湖村観光課】 石割山登山道補修プロジェクト 【富士河口湖町観光課】 視察・参加・取組検討 【環境省(トレイルコミュニティ)】 グリーンエキスパート事業	【トレイルコミュニティ・環境省】 石割山の登山道補修・その他の登山道での導入検討・実施 【富士山科学研究所】 石割山登山道補修参加 ワークショップでの講演 登山道の植生調査	3Dモデリング作成・分析、 植生回復への助言等 評価指標の検討 利用者の動態調査 【ごうりき】石割山整備体験コンテンツ造成	
			【環境省】 東海自然歩道の一部補修	【マウントジートルイクラブ】 富士山ロングトレイル運営事業		
			【エコロジック】 白糸の滝⇄天子ヶ岳・長者ヶ岳⇄田貫湖トレイル整備事業(仮称)			

※注)青線は、令和5年度(2023年度)変更箇所を示す。

※注)破線は、取組内容の明確な記載は無いが関連する活動(過去からの継続的活動、準備のための活動、今後の活動など)がある/想定されるものを示す。

プロジェクト	実施内容 (※黄色セルは取組個票あり)	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
イ.利用環境の整備、充実、保全	5.ユニバーサルマナー研修		順次検討、取組実施			
	6.今後のロードキル対策等についての協議	【富士山アウトドアミュージアム】 富士山麓ロードキル対策(調査分析、啓発、共同研究など)		+羽根標本作成プログラム 実施	+論文発表、写真展、 富士山麓キャンペーン 実施	+企業とコラボ
	7.田貫湖の展望デッキリニューアル		【環境省】 田貫湖展望デッキリニューアル			
ウ.利用者の安全確保、安全なエリアであることの国内外への情報発信	1.自然環境の状態や、利用者の動態に関する情報共有の推進、共有及び公開の仕組みづくりの検討		【環境省・富士山科学研究所】 関係団体との情報共有	【環境省】 富士登山オフィシャルサイト等 への掲載検討等	【マウントフジトレイルクラブ】 富士山ロングトレイル運営事業	【環境省・富士山科学研究所】 随時調査を追加、活用した対策を検討・実施
	2.安心・安全なエリアであることの国内外への情報発信		順次検討、取組実施			
エ.既存施設を活かした新たな利用の推進	1.ロングトレイルの活用	【富士宮市】 東海自然歩道整備事業		【マウントフジトレイルクラブ】 富士山ロングトレイル運営事業		
		【静岡県】 東海自然歩道の整備 (自然歩道上の標識や階段等の施設改修)		【静岡県】 東海自然歩道の整備 (降雨等の影響で修繕が必要な施設の補修)		

※注)青線は、令和5年度(2023年度)変更箇所を示す。

※注)破線は、取組内容の明確な記載は無いが関連する活動(過去からの継続的活動、準備のための活動、今後の活動など)がある/想定されるものを示す。

プロジェクト	実施内容 (※黄色セルは取組個票あり)	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
エ. 既存施設を活かした新たな利用の推進	2. 五合目以下の山麓の登山道、歩道の利用の推進	【富士市交流観光課】 富士山登山ルート3776（富士山活用推進事業）				
		【マウントアジトレイルクラブ】 コンテンツ造成事業（仮）				
		【富士吉田市】 吉田口登山道保存と活用のための整備事業				
		【富士宮市観光協会】 富士山ネイチャーガイドによる富士下山のすすめ				
		【富士宮市】 富士山自然休養林の利用促進				
		【富士山世界文化遺産協議会（山梨県、静岡県）】 山麓からの登山の推進				
		【富士河口湖町観光課】 既存登山道の修繕				
	【本栖湖みらいプロジェクト】 竜ヶ岳登山道整備					
	3 古道や廃道の発掘と利用方法の検討	【本栖湖西部観光協会】 本栖湖周辺の古道の整備				
		【マウントアジトレイルクラブ】 Fujisan Rediscovery project（仮）				
【山梨県、静岡県（両県の富士山世界遺産センター）】 古道や廃道の調査研究						

※注）青線は、令和5年度（2023年度）変更箇所を示す。

プロジェクト	実施内容 (※黄色セルは取組個票あり)	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
オ.宿泊や滞在時間の増加につながるコンテンツの開発強化と情報発信	1.ワーケーションの推進	【エコロジック】 富士箱根伊豆国立公園を活用したワーケーションの推進				
		【富士宮市】 富士宮市ならではのワーケーションの推進				
		【精進レークホテル】 ワーケーションルームとアクティビティの提供				
		【マウントトレイルクラブ】 富士山ワーケーション事業（仮称）				
	2.アドベンチャーツーリズムの推進	【エコロジック】 2泊3日富士登山およびグランピングパッケージ販売				
		【山中湖村観光協会】 アドベンチャーツーリズムの商品造成				
		【静岡県観光協会】 アドベンチャートラベルの商品化、プロモーション				
		【ホールアース研究所】 アドベンチャーツーリズムの推進（地域素材を組み合わせた里山体験ツアーの造成）				
	3.マウンテンバイクの走行可能な道に関する意見交換			順次検討、取組実施		
	4.ユニバーサルツーリズムの推進	【富士北麓ユニバーサルアドベンチャーリズム協議会】 青木ヶ原樹海車椅子ツアーの実施			車椅子用アタッチメント活用によるユニバーサルアドベンチャーリズムの推進、防災準備	
5.他エリアとの差別化を意識した情報発信	【静岡県観光協会】 富士山関連コンテンツの情報発信					

※注) 青線は、令和5年度(2023年度)変更箇所を示す。

プロジェクト	実施内容 (※黄色セルは取組個票あり)	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
オ.宿泊や滞在時間の増加につながるコンテンツの開発強化と情報発信	6.サイクルツーリズムの推進	【山中湖村観光課】 自転車の聖地化に向けた取組				
		【富士宮市】 E-BIKE 利用促進事業				

③脱炭素・循環型の取組を先導する国立公園

プロジェクト	実施内容 (※黄色セルは取組個票あり)	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
ア.地域住民、ボランティアとの連携強化	1.住民向けの情報発信			順次検討、取組実施		
	2.セミナー、体験会等の開催、体験しながら学ぶ機会の創出	【山中湖村観光課】 SDGs 学びと実践の会 in 山中湖村			【富士山科学研究所】 山中湖村/ SDGs ワークshop への協力(各種講演等)	
イ.ゴミ問題の対応と脱プラスチック、再生可能エネルギー利用の促進	1.ゴミ問題への今後の対応のあり方の検討	【環境省】 富士山北麓の清掃活動 (グリーンカー事業)		【マウントジトレイルクラブ】 ふじさんゼロゴミアクション		
		【自治体・各団体】 清掃活動	【環境省】 「ゴミ」の意識調査 等	【協議会】 道路沿いポイ捨て等対策検討	【協議会】 対策実施	
		【富士山クラブ】 ごみゼロエコパトロール				

※注) 青線は、令和5年度(2023年度)変更箇所を示す。

プロジェクト	実施内容 (※黄色セルは取組個票あり)	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
イ.ゴミ問題の対応と脱プラスチック、再生可能エネルギー利用の促進	2.脱プラスチックに向けた取組推進			順次検討、取組実施		
ウ.持続可能な取組を学ぶサステナブルツーリズムの推進	1.SDGsの取組の集約・整理		【富士五湖観光連盟】 集約・一覧化			
	2.企業や学生向けのSDGsツアーの企画、実施	【エコロジック】 インバウンドエコツアーの企画・販売・実施				
		【マウント富士トレイルクラブ】 SDGs事業				
	【富士急行(株)】 SDGs(持続可能な富士山観光)プログラム設定		プログラムの実施			
				【山中湖村観光協会】 SDGsツアーの企画、造成		

※注)青線は、令和5年度(2023年度)変更箇所を示す。

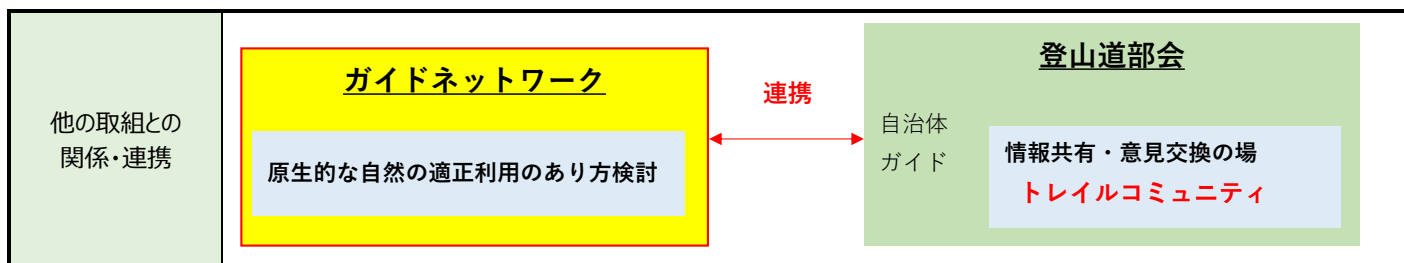
<取組個票>

①上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園

プロジェクト	ア. 適正利用推進に向けて体制構築		番号	①ア-1
実施内容	1. 富士山麓におけるエコツーリズムを中心としたガイドの連携体制構築 原生的な自然の適正利用の在り方の検討			
実施主体	富士山麓地域協議会構成員／オブザーバー、富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会構成員、エコツーリズム関係事業者			
取組の目的	富士山麓地域全体のガイド事業者の連携を目的としたガイドネットワーク（部会）を組織し、情報の共有、富士山麓地域の利用のあり方、エコツーリズムの質の向上、合意形成等、課題解決に向けた取組を実施し、エコツーリズムの普及と体験の充実を図る。また、富士山麓地域の中で、特に青木ヶ原樹海を中心とした原生的な自然の適正利用のあり方を検討する。			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ガイドネットワークを設置し、情報共有の場を設ける 各エリア（特に青木ヶ原樹海等原生的な自然の残るエリア）における課題抽出、ルール作りや連携体制の検討 富士山麓全体の利用のあり方検討、地域ならではのストーリー性をもったエコツーリズムの展開 			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	富士山麓エリア全体	○	富士山麓全体	
	一部	○	青木ヶ原樹海等	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 2024年までにガイドネットワーク設置、情報共有 2025年までにルール作りや連携体制の検討 2025年までに富士山麓全体の利用のあり方検討、地域ならではのストーリー性を持ったエコツーリズムの展開 			

取組の現状と今後の予定・計画

		2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	富士山青木ヶ原樹海等エコツーリズムガイドライン推進協議会構成員	富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会	富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会	富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会	富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会
	富士山麓地域協議会構成員／オブザーバー		連携	ガイドネットワーク（仮称）	
	エコツーリズム関係事業者 民間事業者			○情報共有	○情報共有 ○各エリアのコア地域（青木ヶ原樹海等）における課題抽出 ○ルール作りや連携体制の検討
	富士山麓地域協議会事務局（環境省）	ヒアリング 先進事例踏査	ガイドネットワーク設置準備会		
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用				
想定している予算措置	・各種助成金				



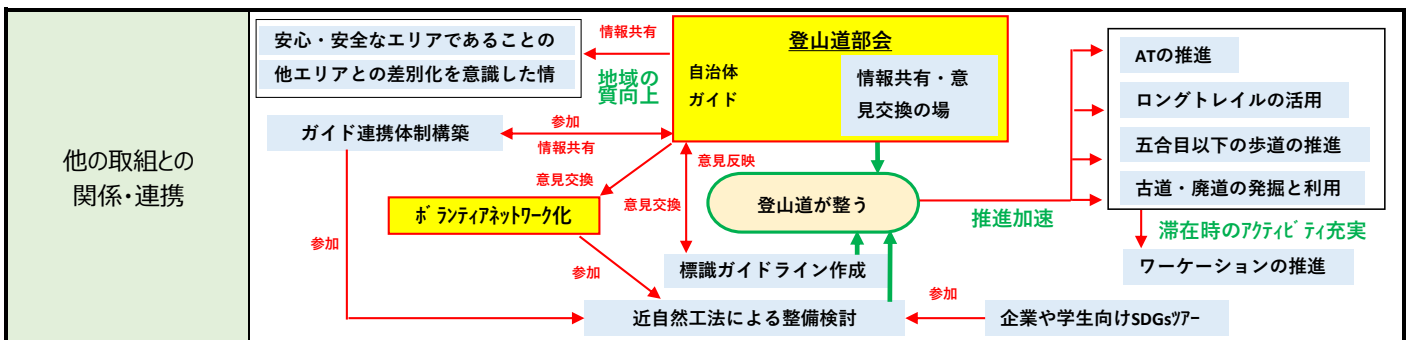
<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	ア. コミュニティの関係性の強化		番号	②ア-1
実施内容	1. 情報共有や意見交換の場、機会の提供（山麓トレイルの整備と維持管理） ボランティア受入体制のネットワーク化			
実施主体	登山道部会（環境省、歩道管理者、トレイルコミュニティ）+ガイド部会+地域住民			
取組の目的	利用者の長期滞在・周遊を促進するため、富士山麓の各エリアが個々の魅力を活かしつつ、情報共有、意見交換の場をつくることを目的とする。また、地域の自然や文化を体験できるアクティビティであるハイキング・エコツアーで利用される歩道について、利用者が安全・快適に楽しめるため、官民が協働し整備・維持管理していく体制作りを目的とする。さらに各エリア、各団体での登山道補修や清掃活動などの活動についてのボランティア募集・受け入れを円滑にするためのネットワークを構築する。			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・トレイルコミュニティを中心に、歩道管理者、ガイドなどで構成される「登山道部会（仮称）」を協議会内に設立する ・富士山麓の歩道についての情報整理・把握を行う ・歩道についての情報共有体制を構築する ・一般/学校/企業等向けの登山道整備イベントの実施 ・維持管理の一部を民間が担う体制を構築する ・トレイルコミュニティを中心に、団体間での活動情報を共有し、地域での活動を見える化する 			
	実施場所・対象地	実施場所・対象地	具体的な場所	
	富士山麓エリア全体	○	富士山麓全体 + 周辺の国立公園外エリア	
	一部			
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年に作業部会を設立。意見交換・課題共有を行う ・2024年までに歩道や活動団体についての情報共有ツールを構築する ・2024年までに歩道情報について整理、活動の見える化を行う ・2024年までに一般向けの登山道補修イベントを行う ・2025年までに維持管理の一部を民間にて実施を目指す 			

取組の現状と今後の予定・計画

		2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	環境省	意見交換・情報共有	意見交換	意見交換・情報共有	
	山中湖村	意見交換	意見交換	一般向け登山道補修イベントの検討・実施	
	自治体 (各歩道管理者)	参加 参加	意見交換	維持管理体制 検討	民間による一部維持管理目指す
	トレイルコミュニティ	設立 意見交換・情報共有	意見交換	作業フロー作成	登山道整備計画
	富士山麓地域協議会			ボランティア受入体制の情報共有ツール構築	ツールを活用しての情報共有
	ガイド部会 地域住民			登山道情報整理 (重点地区)	その後その他エリア
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用				
想定している予算措置	・各種助成金				



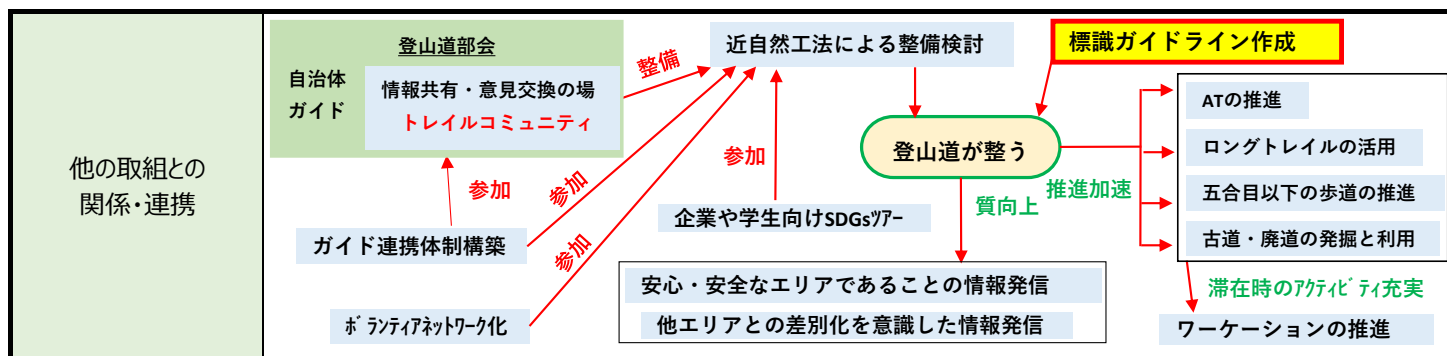
<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	イ. 利用環境の整備、充実、保全		番号	②イ-3
実施内容	3. 標識等の簡易ガイドラインの作成			
実施主体	富士山麓地域協議会(環境省、自治体、事業者、オブザーバー)			
取組の目的	歩道に乱立した標識、多言語未対応、必要な箇所に設置されていないなどの課題から、利用者の利用環境の向上、安全確保、景観統一を目的とする			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省の整備指針、富士山五合目以上の標識ガイドライン等を元に、ガイドラインを策定 ・重要エリアについて、ガイドラインに沿った標識整備 ・最終的に管理運営計画に位置付けることを想定 			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	富士山麓エリア全体	○	富士山麓全体 + 周辺の国立公園外エリア	
	一部			
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年までにガイドラインを策定 ・2025年以降に管理運営計画に反映 ・2025年までに重要エリアにおける標識整備 			

取組の現状と今後の予定・計画

		2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	富士山麓地域協議会事務局 (環境省)	構成員へのヒアリング	三湖台標識整備	素案の作成 現地調査 意見交換 反映 共有 承認 検討会	素案完成 ガイドライン策定 策定 管理運営計画策定準備
	トレイルコミュニティなど	実踏調査		意見交換	
	自治体 (各管理者) 民間事業者			意見交換 予算措置 補助金申請	重要エリアから順次整備
	富士山麓地域協議会			重要エリア選定 承認 検討会	承認 検討会
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用				
想定している予算措置	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境整備交付金、国立公園等多言語解説等整備事業 (自治体) ・国立公園等多言語解説等整備事業 (民間事業者) 				



<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	イ. 利用環境の整備、充実、保全		番号	②イー4
実施内容	4. 近自然工法による登山道整備の検討			
実施主体	登山道部会（環境省、歩道管理者、トレイルコミュニティ）+ガイド部会+地域住民			
取組の目的	利用者の多い富士山麓エリアでの特定の地域への集中を解消し、利用者に国立公園を満喫してもらうため、登山道を自然への負荷を極力減らした方法で保全しながら整えていくことを目的とする			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・近自然工法による登山道補修の検討・実施 ・近自然工法の理解、技術の習得 ・登山道補修イベントの実施 			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	富士山麓エリア全体	○	富士山麓全体 + 周辺の国立公園外エリア	
	一部	○		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年登山道補修を実施 ・2025年までに富士山麓の登山道補修計画を検討 ・2025年までに補修を担う人材育成 ・2024年までに一般向け登山道補修イベントを実施 			

取組の現状と今後の予定・計画

		2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	登山道部会		設立	意見交換・情報共有・勉強会 登山道補修計画検討・作成	
	環境省	補修実施 補修実施 合同実施 意見交換	補修実施 補修実施	補修実施	補修実施
	トレイルコミュニティ	補修実施（春・秋2回） 研修会	補修実施（春・秋2回）	補修実施（春・秋2回）	補修実施（春・秋2回）
	山中湖村	各種調整参加 各種調整参加 意見交換	各種調整	地域との調整・参画	
	自治体（歩道各管理者）		意見交換・情報共有	補修時必要に応じて法令・土地所有関係調整 予算措置・補助金申請	
	山中湖観光協会		参加	参加	協力 参加
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用				
想定している予算措置	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体予算 ・自然環境整備交付金 ・各種助成金 ・ふるさと納税/クラウドファンディング 				

